

令和6年度 地域医療機関への訪問活動報告

1. 訪問活動の基本方針（「令和6年度 訪問活動計画」から）

紹介件数が減少している医療機関を中心に訪問を行い、対面での直接的な聞き取りにおいて明らかになった当院に対する要望やニーズの把握に努め、課題を明らかにし、地域医療連携の視点で課題解決を図ることを基本方針として取り組みました。

2. 訪問対象（「令和6年度 訪問活動計画」から）

- （１）紹介件数が大きく減少している医療機関を抽出して訪問
- （２）新規に開業した医療機関を、毎月近畿厚生局のホームページで確認し早期に把握し早期に訪問
- （３）後方支援医療機関及び関連機関から対象抽出し訪問
- （４）未登録医療機関への訪問を継続して実施

3. 実施状況

- （１）紹介件数が大きく減少している医療機関を抽出して訪問

全8件に訪問を実施しました。紹介件数が減少している理由や当院への要望として、把握した主な内容は以下のとおりです。

減少の理由	・逆紹介されないケースがあるため。
当院への要望・期待	・市立ひらかた病院には特に急患・救急の紹介患者を受けてもらいたい。 ・医師の交代は少ないほうが良い。 ・診診連携で診療所に検査や日帰り手術を依頼することが増えた。市立ひらかた病院には、診療所では対応困難な合併症の危険性が高い高齢者の検査や手術対応に期待する。
地域医療機関の診療状況の変化	・受診患者自体が減少している。 ・外来枠の縮小化や予約制への変更に伴う患者減少。 ・コロナによりがん検診の受診者が減少し戻らない。

(2) 新規に開業した医療機関を、毎月、近畿厚生局ホームページの確認によって早期に把握し早期に訪問

全 24 件に訪問または面談を実施しました。訪問の時期は、開業日から 1 週間内に行うことが多く、医療機関によっては開業日前に当院で面談をする機会も増えています。また、これらの新規開業医療機関から 122 件の患者紹介がありました。市域別の訪問医療機関数は以下のとおりです。

枚方市	15 件
交野市	3 件
寝屋川市	2 件
高槻市	4 件

(3) 後方支援医療機関及び関連機関から対象抽出し訪問

あらかじめ抽出した枚方市内に所在する以下の機関に訪問を実施しました。

病院	12 件
訪問診療所	1 件
高齢者入居施設	2 件
訪問看護事業所	1 件

(4) 未登録医療機関への訪問を継続して実施

全 24 件に訪問を実施した結果すべて登録医療機関となり、全登録医療機関数が 365 件となりました。

4. まとめ

令和 6 年度は延べ件数 353 件に訪問・面談を実施し、昨年度と比較して 106 件増加しました。

これまでから地域医療連携における当院への主な要望・期待は、「急性期病院としての役割」と「円滑な逆紹介」であり、引き続きこれらの要望・期待に可能な限り応えるべく取り組みを進めます。また、今後も訪問活動を通じて地域医療の実情や医療体制の変化を捉え、相互理解を深めるために情報を発信します。

令和 7 年度の訪問活動においてはこれまでの方法に加え、登録医療機関であっても患者紹介が少なく連携関係が形骸化している医療機関、新規開業医療機関については、連携強化に向けて一定の期間に集中して訪問活動を行う重点対象として取り組みたいと考えます。